

工業技術新聞

発行所
工業技術新聞社
大阪市福島区吉野2丁目
15番1号(松井ビル)
電話06(6225)0355(代)
購読料1年12,000円
毎月20日発行

新 特別号 春

ロータリーカッターや一体型耳屑処理装置など 耳屑処理製品・設備が話題を呼ぶ！ (株)辰巳エヤーエンジニアリング

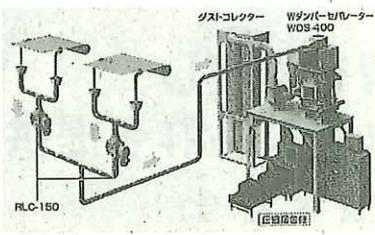
(株)辰巳エヤーエンジニアリング(大阪府東大阪)が、現場のスペースに応じた水走二一四一三五、〇七二一九六二一九二〇は、昨年の十二月八日〜〇日まで、高機能素材Week(高機能フィルム展)で、フィルムの製造現場で発生するエッジトリム(耳屑)の処理を空気輸送で提案。エッジトリム(耳屑)処理システムを構築するロータリーカッターや空気輸送装置、空気分離装置、一体型耳屑処理装置などを出展し、来場者より話題を呼んだ。

フィルムや紙を裁断加工する際にエッジトリムが発生するが、従来ではこのエッジトリムの処理に巻き取り機やエシエクターを利用した圧送式空気輸送が用いられていたが、輸送距離に問題がある上、効率が悪くコスト高になるといった問題があった。

同社では、こうした問題を解決する耳屑処理設備を開発。設備は処理量や現場のスペースに応じて同社がトータルで提案しており、すでに豊富な導入実績を誇っている。同設備はスリッターやワインダーなどから連続して発生するエッジトリム(耳屑・耳ロス)を吸引しながら2枚の回転刃で切断し、製造現場から離れた処理室・産廃室に空気搬送して処理するというもの。現場から処理室という長距離の空気搬送を実現することにより、ハンドリングのロスを大幅に軽減し、省時間・省人化に貢献する。

同設備を構築する機器を紹介すると、「RC-300」は、耳屑を切断する自立式のロータリーカッター。不織布や厚めの繊維素材、発泡シートなどのエッジトリムを切断できる。建材用の発泡素材なら50mm厚程度まで切断可能である。

「RLCシリーズ」は、ダクトライン上に組み込んで使用できるコンパクトなロータリーライナーカッター。フィルムや紙、不織布、アルミシートの他、100ミクロン以下の薄い素材の耳屑処理に最適である。耳屑は最大300mm程度まで処理できる。

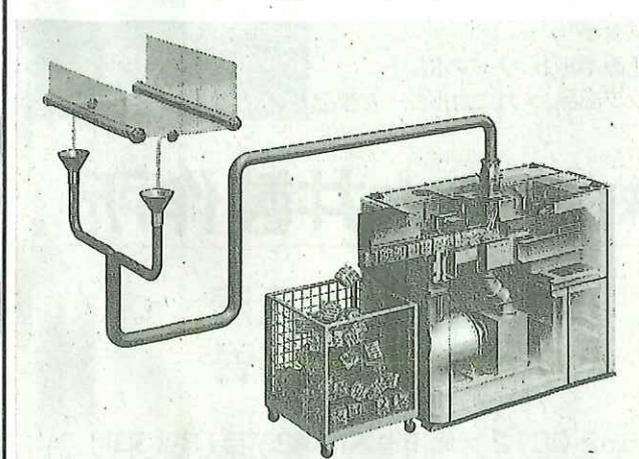


RLCシリーズを利用した耳屑処理設備

気輸送分離機として利用できる。(特許取得済み) 同装置はエアセパレーターと上下2段式のダンパーで構成。セパレーター投入ヘッドから入ってきた処理物を旋回させながらエア分離し、2台のダンパーを交互に開閉することでエアシールしながら処理物を排出する。いったん仕組みで稼働する。また、同展示会では、新製品の一体型耳屑処理装置「ボレアス」も紹介され、注目を集めた。

同機は、エッジトリムを吸引し、搬送・分離し、圧縮して四角柱の形状に圧縮。そして排気処理までの全工程を一台で行う。処理速度は3500m/min。フィルムや紙、ラミネート紙などエッジトリムに対応可能。幅広い製造現場で利用できる。四角柱の形状に押し固められた処理物は、40mm×長さ1000×900mmから任意でカットができ、自動で排出され、メッシュパレットなどで回収することができ

「Wダンパーセパレーター」は、フィルムや紙などの加工機ライン上のスリッターから発生するエッジトリムをそのまま吸引し、搬送・エア分離する二重ダンパー式のエアセパレーター。あらゆる空



一体型耳屑処理装置「ボレアス」

http://www.tatsumi-air.co.jp